

めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243

E-mail miraiken@shiwa-mirai.com



第1回森のようちえん“りんくる”開園!

6月19日(日)町内大巻の大正園において、第1回森のようちえん“りんくる”を開園しました。この森のようちえんは、今年度から紫波みらい研究所、子育て支援グループ、個人の皆さんがそれぞれの得意分野を出し合い、補い合いながら取り組んでいる事業です。

今回の応募は、親子14組37人。1歳から7歳のお子さん23人が参加しました。

大正園はすてきなところで、大巻産直から東の方向を見ると目の前に標高200m弱の山。河村氏の館城(大巻館跡)を「大正園」と呼んでいます。頂上までゆっくり、子どもの足でも40分ぐらいです。

楽しい、楽しい、森のようちえん“りんくる”の開園です。



頂上から紫波町の町並みが一望



りんくる仮面と遊ぶ子どもたち



りんくる仮面のお出迎え



手形を看板に押す子どもたち



ブランコで遊ぶ子ども

8月20日には、お泊り企画があります。子どもたちのためにも、一緒に森のようちえんという空間をつくりあげることにご協力ください。よろしく申し上げます。



岩手大学教育学部一泊研修で来町!

7月2日(土)から3日(日)、岩手大学教育学部「社会教育課題研修」で地域の取り組みを学んでいる学生が紫波町を訪れ、町が進めている公民連携、オガール紫波(株)などの取り組みを研修しました。また、そば打ちも体験し、町の食材を満喫して帰りました。

この授業は、平成17年から行われており、90分15回の授

業プログラムを組んでいます。

1講義目は、循環型まちづくりの取り組みを町長が講話。その他の授業の講師は、地域で環境・子育て・情報発信・有機堆肥を使った農産物の取り組み・今年度設立された農林公社などさまざまな活動を行っている団体が務めています。





古新聞・古雑誌・アルミ缶の回収をしています!

—NACSリサイクルステーション—

ナックスの店舗南側にリサイクルステーションがあります。リサイクルステーションでは、お持ちいただいた資源の量に応じて二酸化炭素削減の貢献度が数字で見え、さらにエコポイントをゲットできます。たまったエコポイントは、ナックスカードポイントに交換できて、環境だけでなく自分にもちょっぴりうれしいエコ活動ができます。

集団資源回収を実施していない地域では、古新聞・古雑誌・アルミ缶などを町のごみ集積所に出さずに、お買い物の際にお持ちください。

エコポイント500ポイントでナックスカードポイント500ポイントに交換できます。交換の際は、ナックスサービスカウンターへお越しください。

持ち込む際は、登録が必要です。

ナックス営業時間内あさ9時～よる8時ならいつでも回収します。

お問合せ先

NACS事務局 672-1810



1 古新聞・古雑誌など
kg に対して1ポイント



1 アルミ缶
kg に対して40ポイント



國學院大學

里山づくりプロジェクト開催!

平成16年から始まった國學院大學生里山づくりプロジェクトは、8月6日(土)～7日(日)水分地区で開催します。今年も30人近くの学生や職員が里山整備をしに来町します。学生たちを受け入れてくださるのは、上松本地区の皆さまです。

昨年は、農作業やお仕事の合間に、学生の朝夕食の支度・おやつや交流会の準備をしていただきました。また、里山整備においては、地元住民と学生と一緒に汗を流し、交流しました。

今年度、紫波町・國學院大學、本研究所は包括的な協定を結ぶことになりました。



ラ・フランス温泉館

再生可能エネルギー導入!

導入にあたって、(株)紫波まちづくり企画(温泉館運営)は、環境エネルギー普及(株)、NPO法人紫波みらい研究所とクリーンエネルギーサービス契約を締結しました。同契約は、自然エネルギー導入や省エネを図るための機器導入、15年余の保守管理を行う内容。

ラ・フランス温泉館に導入したのは、自然エネルギー設備が太陽光発電設備(ソーラーパネル200枚)、太陽熱温水器(コレクター65枚、集熱面積105m²)、省エネ設備は温泉排水熱回収ヒートポンプ(4台)。導入後は、給湯用熱需要の8割がこの再生可能エネルギーで賄うことができ、年間約940万円の光熱費削減、年間380tのCO₂削減が見込まれます。今後、環境エネルギー普及(株)は太陽光発電と太陽熱温水器設備、本研究所は省エネ対応のヒートポンプ設備の普及啓発活動を担っていきます。詳細は次号に掲載します。